

工事責任者災害防止連絡会議を開催しました！

令和8年6月30日、相模原労働基準監督署にて、相模原労働基準監督署主催の「工事責任者災害防止連絡会議」を開催し、多数の事業場の皆様にご参加いただきました。

当署から、建設業に係る時間外労働の上限規制、労働災害発生状況、元方事業者による建設現場安全管理指針のほか、熱中症対策等についてご説明しました。

出席いただいた皆様からは、働き方改革に係る現場での取組状況や現場で工夫していること、そして、熱中症対策について発表いただきました。

災害の原因となりうる危険箇所の見える化、AIを用いた議事録の作成や、GPSを用いた労働時間管理システムの導入、経験年数別の安全衛生研修会の開催、外国人が多数入場する現場では多言語での注意看板の設置、言語別勉強会の開催、熱中症対策では、自覚症状のチェックリストの作成と活用、報告体制整備のためウェアラブルデバイスを活用している、湿球黒球温度計を用いてWBGTを計測している、身体冷却のため冷蔵庫に飲み物やタオル等を常備する、足場上でも日陰を作るようにしている、クールダウンルームの設置等のご意見をいただきました。

